

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	耶馬溪ダム流入量予測システム高度化検討業務
業 務 概 要	計画準備 1式 流入量予測モデル高度化検討 1式 ダム下流河川水位・流量予測モデル高度化検討 1式 システム支援機能検討 1式 システム構築及び総合試験調整 1式 報告書作成 1式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 山国川河川事務所長 中元 道男 中津市大字高瀬1851-2
契 約 年 月 日	令和 6年 3月19日
契 約 業 者 名	(株) 建設技術研究所
契 約 業 者 の 住 所	福岡県福岡市中央区大名2-4-12
契 約 金 額	19,976,000円(税込み)
予 定 価 格	19,976,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙契約理由書のとおり
業 務 場 所	大分県中津市耶馬溪町大字柿坂地先 耶馬溪ダム
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 6年 3月20日
履 行 期 間 (至)	令和 6年12月27日
備 考	入札情報サービス(PPI) (https://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 耶馬溪ダム流入量予測システム高度化検討業務
2. 履行場所 大分県中津市耶馬溪町柿坂地先 耶馬溪ダム
3. 契約の相手方 会社名：株式会社建設技術研究所 九州支社
住所：福岡市中央区大名2-4-12
代表電話：(092)714-2211

4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、ダム操作の支援並びに放流開始判断など使用用途が多岐にわたっており、操作負担軽減として流入量予測モデルの高度化について検討するとともに、検討したモデルを流入量予測システムに実装し、放流操作の判断を支援する機能の高度化を図るものである。

2) 業務の内容

計画準備	1式
流入量予測モデルの高度化の検討	1式
ダム下流河川水位・流量予測モデルの高度化の検討	1式
システム支援機能の検討	1式
システム構築及び総合試験調整	1式
報告書作成	1式

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を27者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書が提出され、1者が参加資格を有していた。

参加資格を有する1者を技術提案書の提出者として選定し、技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に、「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」における業務項目についての具体的な内容が記載されていること、及び特定テーマの「耶馬溪ダム流入量予測システムの高度化するに当たっての留意点について」に対する技術提案について「与条件との整合性」、「着眼点、問題点、解決方法」について、総合的に優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

山国川河川事務所 ダム管理課長